

函館市との 「協働のまちづくりに関する協定」 締結について

2020年8月26日
北海道ガス株式会社

協定締結の目的

- 函館市と北ガス函館支店では、函館市主催のイベントでの連携をはじめ、A I 画像処理技術を活用したロードヒーティング制御システムの導入、環境・エネルギーに関連した情報提供・勉強会等を進めてきた。
- 本協定の締結により、一層の連携を推進。7分野18項目（函館市9部局）にわたる広範囲な協定締結は函館市・北海道ガスともに初。

函館市の主要課題



- ✓ 人口減少
⇒流動人口・関係人口の増加
- ✓ 高齢化
⇒健康増進・福祉の拡充
- ✓ 市場の縮小・経済の停滞
⇒まちの再整備・経済活性化
インフラの維持・更新

両者が有する
資源を有効に活用
(組織的・連続的に連携)

北ガスの役割



- ✓ エネルギー高度利用技術、情報の提供
⇒省エネ・省CO₂、再エネの普及促進
⇒強靱化の実現
- ✓ 非常災害時の協力
- ✓ まちづくり、再整備事業への貢献
- ✓ 経済活動活性化への貢献

市民サービスの向上及び地域の活性化
函館市民の誰もが安心して暮らせるまちづくりの実現

主な連携事項（7分野）

1 エネルギーの有効利用・災害時の支援に関すること

- 福祉避難所支援事業 [保健福祉部]
- AI 画像処理技術等を用いたロードヒーティング制御実証 [土木部] 等

2 健康増進・福祉に関すること

- はこだて市民健幸大学 [保健福祉部]

3 環境保全・リサイクルに関すること

- 食品ロス削減に繋がるエコクッキング事業 [環境部] 等

4 地域産業の振興に関すること

- 食の担い手育成事業 [経済部] 等

5 観光振興に関すること

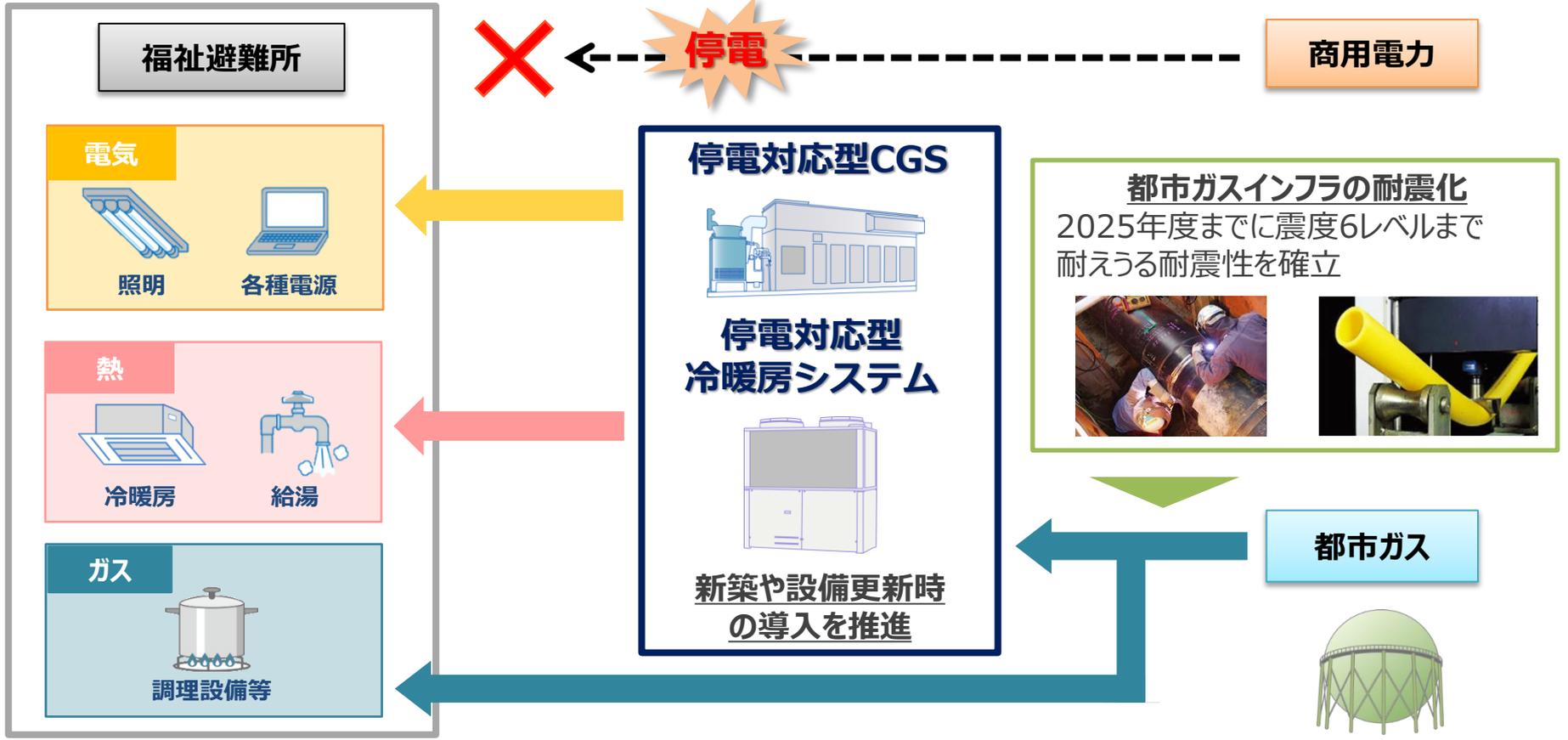
6 地域の開発・活性化に関すること

7 文化・スポーツの振興に関すること

災害時の福祉避難所へのエネルギー供給 ①都市ガス供給エリア内

都市ガス供給エリア内の福祉避難所に停電対応型コージェネレーションシステム (CGS) や停電対応型冷暖房システムを導入

➡ 災害時にもエネルギー供給を継続、福祉避難所としての機能を維持



※福祉避難所： 災害が発生または発生するおそれがあるときに、一般の避難所に避難した方のうち、高齢者や障がい者などの特別に配慮が必要な方（要配慮者）が、二次的に避難する施設。

災害時の福祉避難所へのエネルギー供給 ②都市ガス供給エリア外

都市ガス供給エリア外の福祉避難所には災害発生時に**発電機を運搬・設置**

➡ 電力供給を継続、福祉避難所としての機能を維持

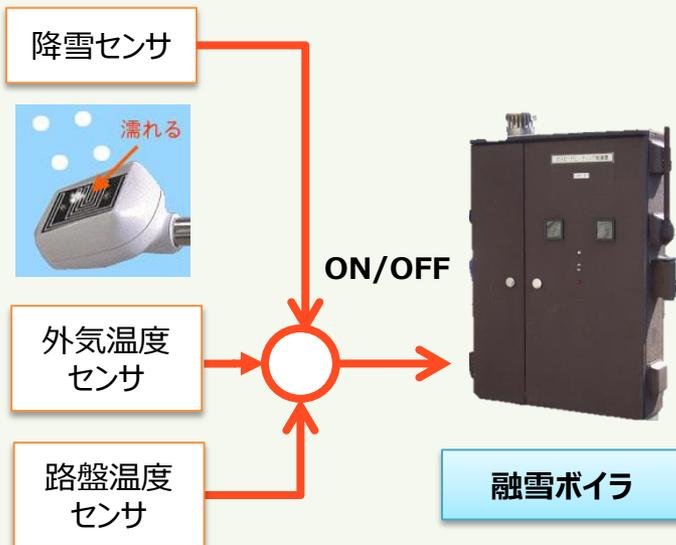


A I 画像処理技術等を用いたロードヒーティング制御実証

函館市の設置するロードヒーティングにAI技術を活用した制御システムを導入

➡ 将来的には、省エネにより捻出したエネルギー費用の設備改修費用への充当等、広範囲に検討する

従来の融雪システム



各種センサーにより ON/OFFを制御 ➡ 実態との乖離 (= 過剰な運転) が発生する場合も

A I 技術を活用した制御



平地における実証試験において
30%~40%程度の省エネ効果を確認済み

撮影画像からA I 技術を用いて積雪の有無を判断し、ON/OFFを自動制御 ➡ より実態に則した制御とすることで機能を維持しながら **運転時間を減少**

- 連携事項2 健康増進・福祉に関すること
- 連携事項3 環境保全・リサイクルに関すること
- 連携事項4 地域産業の振興に関すること

食文化の振興

北ガス函館支店クッキングスタジオを利用し、料理教室等のコンテンツを提供

はこだて市民健幸大学

健康増進に資する料理に関する情報を発信し、
家庭や地域での健康づくりを推進



エコクッキング事業

調理時の食品ロス削減に関する情報
を発信し、廃棄物削減を通じた
環境保全に貢献

食の担い手育成事業

函館新名物「焼きピロシキ」料
理教室の開催等、地元料理の普
及促進に関する情報を発信し、
地域食産業の振興に貢献